第36回上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」一般の部 受賞者一覧

賞名	氏名	歌	県
1席	小野 まなび	声のない「かえろ」を母の唇 ^{くちべ} に見る返せぬ「かえろう」を肺に持ち帰る	大阪府
2席	秋津 由佳	カーテンのフックの数が足りてない保健室から見える青空	茨城県
3席	酒見 潮	転任の恩師見送る島の子等出船に合わせ海に飛び込む	兵庫県
4席	小島 清子	「助けてくれたね」と両手でつつむ夫の頬 泣顔叱られた一昨日までは	岐阜県
5席	布施 あかり	ひなあられ祖母は今年もくれたけどもういいよ、とは言えなくて春	兵庫県
入選	永井 旅児	顔を見るたびに茶化して怒らせる好きと言えればそれで済むのに	鹿児島県
入選	近森 起久子	わたくしは食べたくないから作らない偶には言いたいほんまに言いたい	大阪府
入選	和田 明	口元に皺をあつめてオカリナに勤しむ妻の「夕焼け小焼け」	群馬県
入選	黒木 淳子	ほくろから生える一本今朝の秋 生きているとはこういうことか	大阪府
入選	藤本 ちどり	この中に一つだけある毒林檎あなたはきっとそれを選ぶわ	愛媛県
入選	横森 順子	バス降りて忘れしことに気づくなり大原の里まで一人ゆく傘	京都府
入選	山下 多恵子	おばあちゃんに孫だと紹介されたけど名前あります さわいしゅんすけ	熊本県
入選	林 暁子	私にも表の顔と裏の顔夜空にかかる半月のように	岐阜県
入選	山崎 美夜	二万個の複眼もつとふシオカラの見降ろしてをり草引くわれを	熊本県
入選	宮原 喜美子	言わないのは言えないのだよ責めるなど夫は言いぬ言葉少なに	神奈川県
入選	奥谷 くに子	五十年顔見合わせて褒めました君の辛抱わたしのがまん	兵庫県
入選	川上 善司	カギ穴に鍵をさし込み我が家の扉の内の時間をあける	大阪府
入選	埜藤 裕子	楽器など何も出来ない私でもチェンバロを弾く友達がいる	兵庫県
入選	寺尾 隆志	農学部銀杏落葉の広がりて蹄の音は埋もれゆくよ	兵庫県
入選	稲吉 健一	妻のみぬゆふべの卓の斜向ひ娘には「あれ」で通じぬ会話	宮崎県
佳作	堀 将大	呼吸音しか聞こえないこの部屋の命はすべてわたしが産んだ	岡山県
佳作	佐藤 遵子	捨てられぬお道具箱の中のやう古びた海に記憶漂ふ	大阪府
佳作	今井 修	記録より記憶に残る人多し乱反射するそれぞれの生	兵庫県
佳作	濱 守	満開の花を仰ぎて佇めば喉の仏も座りてあふぐ	兵庫県
佳作	井坂 澄子	渾身の力で握るその指を一本一本と離す悲しさ	大阪府
佳作	福田 繁子	どくだみはニキビに効果のあることを話せば少年神妙に聞く	兵庫県
佳作	石野 豊枝	荒れた君口づけさえ哀しくて本物だったわたくしの恋	東京都
佳作	松本 文雄	椅子にのり裸電球とり代える昭和を映すランニングシャツ	兵庫県
佳作	太田 克子	喉仏コクンと動かし振りかぶる高校球児のあつきマウンド	兵庫県
佳作	森田 公子	宇は空間宙は時間のそのあわい無限小なる汝と吾は出合い	東京都
佳作	桑原 環世	茜色このひとときも旅ですれ見えない貴方に言葉をかける	群馬県
佳作	井ノ口 皓	大蛙十一馬力はありそうな声出し鳴けり一夜一夜を	山口県
佳作	遠藤 瑛子	大根をしよりしよりしよりしよりおろしゆく夏の天ぷら三度豆うまし	兵庫県
佳作	内山 浄子	夕焼けにそまる神社の狛犬のかしら撫でゆく下校の男子	大分県
佳作	神田 恵美子	百均で買った茶碗に金継ぎをしてきたような景色眺める	群馬県
佳作	松下 孝裕	もしかして我を見守るため猫は日に何度かは帰り来るのか	兵庫県
佳作	木村 桂子	今、世界は壊れてゐるのにこんなにもしづかなひかりの満てるわが村	山口県
佳作	西 緑	「残したいもの」とう孫の写生画に入り日にしづもる ^{よつてあみ} 四手網あり	兵庫県
佳作	奥 尚代	光明寺初夏の朝に青年僧わくごとあらはれ黒衣の列なす	神奈川県
佳作	宮崎 眞弓	妊 ^{みごも} りし娘の湯船より立ち上がり玉となり落 ^せ つ背中の雫は	滋賀県
佳作	早瀬 文雄	うなだれて命終えたる向日葵はプールサイドのシャワーのかたち	熊本県
佳作	河北 幸代	手術にてボルト十二個入れし夫のホットプレートのやうな背を拭く	京都府
佳作	中野 響	駅までに公衆電話は一つだけ稲荷社の境内の中	東京都
佳作	伊藤 美枝子	藍には藍の白には白のいさぎよさ熱帯夜を耐へひらくあさがほ	広島県
佳作	河野 真理	変わったこと変えられぬこといろいろあっただからこの絵を再び見に来た	神奈川県
佳作	遠藤 カオル	息とめて燃ゆる夕日を見つつをり旅立つ君と風の丘に今	岩手県
佳作	丸山 かなえ	夫からもふたり子からも母さんと呼ばれわたしは先割れスプーン	愛媛県
佳作	村上 秀夫	禿頭に蜻蛉一頭とまらせてうた詠む貌の茂吉胸像	山形県
佳作	後藤 明美	鈍色の重たい雲が山々にへばりついたらもうすぐ雪だ	北海道
佳作	森 小夜子	立冬に夏日の気温東大寺金剛力士は憤怒の形相	兵庫県